

これからの日本の介護 vol.2

特養が支える皆様の老後 明日への介護

急速に高齢化が進む日本。世界の中でもいち早く超高齢社会を迎えた日本にとって、今後の介護支援の在り方がこの国の将来を大きく左右します。本企画では、今まさに私たちの生活と切り離せない、介護の“今”と“これから”について、シリーズ特集「これからの日本の介護」として、定期的に情報を発信していきます。vol.2では、「特別養護老人ホーム」(以下特養)をはじめとした、老人福祉施設の取り組みについて紹介いたします。本シリーズを通じて、今まで外から見えてこなかった介護業界の“今”を知ったとき、あなたが今まで持っていた介護へのイメージはきっと大きく変わってしまうでしょう。

11月11日は
介護の日
企画・制作 / 中日新聞広告局

私たち「名古屋市老人福祉施設協議会」は、先進的介護への取り組みに挑戦しています。

これまでの介護は個々手法で行われていた部分もありましたが、特養は根拠に基づくケアの実施、介護・看護・リハビリ職種との連携、成功事例の蓄積等を通じて、介護サービスの向上と標準化に取り組み、先進的な介護の提供を目指しています。その実践スローガンとして、「5つのゼロ」(おむつ・骨折・胃ろう・拘束・褥瘡(床ずれ))と4つの自立支援(認知症ケア・看取りケア・リハビリテーション・口腔ケア)を掲げています。中でも認知症ケアと看取りケアは重点項目になっています。本項ではその主だった取り組みを紹介いたします。

おむつゼロ

日中おむつゼロへの挑戦

利用者はおむつをつけられたとき、自身の尊厳を失ってしまいます。それを防ぐため、特養では安定した水分摂取、食事の改善、日中の運動を通じて、トイレでの「自然な排便」を促しています。

認知症ケア

認知症医療の進歩は著実
…原因疾患別特徴を踏まえたケアを

特養ではほぼ全て、その他の入所施設ではおよそ8割の入所者が認知症となっています。一口に認知症と言っても、アルツハイマー型・脳血管性など、様々な原因疾患があり、現れる症状はそれぞれ異なります。そのため、原因疾患をふまえた個別ケアにより病状の進行を遅らせることが大切です。

看取りケア

特養は、地域社会のセーフティネットです

いわゆる「終の住まい」と呼ばれる特養では、利用者の看取りに関する対応を積極的に行っています。看取りケアの先進的な取り組みとして、利用者が治療による改善の可能性が認められないと医師が診断し、その上で、本人や家族がそれ以上の治療や胃ろうなどを望まない場合に、無理な延命措置は行わず、利用者がその人らしく安心・安全・安楽に過ごすことを援助するというものがあります。

リハビリテーション

機能訓練は生活リハビリを中心に

褥瘡(床ずれ)・関節拘縮・臓器機能低下・意識レベル低下を防ぐべく、起床を第一歩とした生活動作のリハビリを行っています。要介護4・5の利用者の歩行能力改善に成功した事例もあります。

口腔ケア

歯科医師、歯科衛生士など
歯科専門職と介護職との連携・協力で

口腔機能の維持・向上は誤嚥性肺炎をはじめとした多くの疾患予防と、食事や排泄、移動、入浴等の基本的な行動の改善に大きく影響します。特養では歯科医師・歯科衛生士と連携し、安全な食事の提供と口腔ケアを実践しています。

老人福祉施設とは？

老人福祉施設は、利用者、入所者、そして地域で暮らす高齢者の自立支援と家族の支援を行い、「自立・健康・生きがい」の街づくりに貢献します。また、老人福祉法に基づいて設立される高齢者の福祉を担う施設で、入所型と通所型にわかれています。入所型の種類は特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウス)、グループホームなどがあります。通所型の施設はデイサービスや短期入所施設(ショートステイ)などがあります。介護度・目的で利用できる施設は違いますが、**要介護度の高い高齢者を多く受け入れているのが、特養です。**



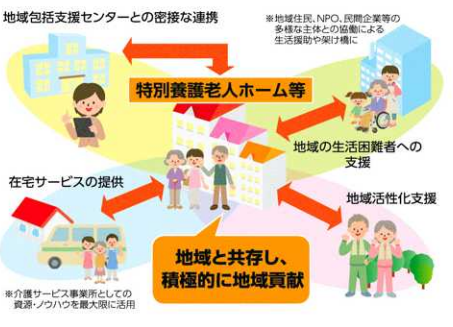
老人福祉施設協議会とは？

全国の各県単位で支部を持っており、各老人福祉施設で構成されています。根拠に基づいたケアの実践・ケア別の対処方法などが大会を通じ、研究されています。

これからの特養が目指す、明日への介護

特別養護老人ホームは、在宅介護も支えています。

団塊の世代が75歳以上となる2025年は、3人に1人が高齢者になると予想されています。現在よりも要介護認定者数が約1.5倍増加するであろうと見込まれており、その影響で、要介護認定者の受け入れ施設の不足が心配されています。そのため国は、介護が必要になった高齢者が施設に入らなくとも在宅で自分らしい暮らしが続けられるよう「医療・介護・予防・生活支援・住まい」の5つのサービスが一体的に受けられるシステムの構築に取り組んでいます。そのような中で、特養は在宅介護が必要な方や、その家族、各地域にお住いのこれから介護が必要になる方へ、特養の長年培ってきた介護の知識・情報を発信し、**介護不安を少しでも解消し、安心できる地域の拠点となること、特養の目指す姿です。**現在でも在宅介護に関する講演会を行っている施設もあり、地域のコミュニティの場を設けております。特養は、介護のスペシャリストとして、地域を支えています。介護でお困りな事がございましたら、お近くの特養へ足を運んでみてください。



特養は利用者の意見を傾聴しクオリティーの高いケアに取り組み、日々介護の技術を向上させています。世界に誇れる日本の質の高い介護サービスが皆様の「人生の最終ステージ」を支えていきます。

私たちが日本の介護を支えています

社会福祉法人 **愛生福祉会**
特別養護老人ホーム (愛生苑・庄内の里・鳩の丘・黒石荘・御後乃里・安井乃郷・田谷の里)
http://www.aiseifukusikai.jp

社会福祉法人 **九十九会**
http://www.tsukumokai.jp

社会福祉法人 **緑生福祉会**
特別養護老人ホーム **南生苑**
http://www.ryoseifukusikai.or.jp

夢と生きがいの作品展
11月12日(水)～16日(日)
名古屋市民ギャラリー矢田

社会福祉法人 **サンライフ**
http://www.e-sunlife.or.jp/

社会福祉法人 **サン・ビジョン**
http://www.sun-vision.or.jp/

社会福祉法人 **名古屋市社会福祉協議会**
各区介護保険事業所
http://care-net.biz/23/zaitakunet/

社会福祉法人 **名古屋ライトハウス**
http://www.nagoya-lighthouse.jp

石飛 幸三 先生 特別講演会
特別養護老人ホーム 芦花ホーム 常勤医

社会福祉法人 **旭会**
特別養護老人ホーム **アメニティあさひ・アメニティ城西**
http://asahi-kai.jp/

社会福祉法人 **天白原福祉会**
特別養護老人ホーム **千寿乃里**
http://www.amatsukawara-kai.or.jp/

社会福祉法人 **愛知育児院**
特別養護老人ホーム **南山の郷**
http://www.nanzan-v.com

講演会『平穩死のすすめ』
11月16日(日)
名古屋市民ギャラリー矢田 4階

社会福祉法人 **清涼会**
http://www.sei-ryou-kai.or.jp

社会福祉法人 **英楽会**
特別養護老人ホーム **楓林花の里**
http://www.ei-raku-kai.or.jp

社会福祉法人 **日進福祉会**
特別養護老人ホーム **大高**
http://www.nisshin-kai.or.jp

《名古屋市老人福祉施設協議会》
☎052-505-1165